

茶品種『さきみどり』の特性

宮崎県総合農業試験場 茶業支場育種科
連絡先 0983-27-0355

1 「さきみどり」のセールスポイント

- (1) やや早生品種で、摘採期が「やぶきた」より2日程度早く、多収です。
- (2) 香味が温和で、くせがなく扱いやすい。
- (3) クロロフィル含有量が「やぶきた」の1.5倍程度あり、色沢・水色が優れる。

2 育成経過

- (1) 育成地 宮崎県総合農業試験場 茶業支場（農林水産省 茶育種指定試地）
- (2) 交配 1979年(S54)
栄養系名 宮崎15号
- (3) 登録 農林登録 H9 茶農林47号
種苗登録 第9203号(H13)
- (4) 交配組合せ



3 品種の特徴

(1) 形態的特性

- 樹姿 : 中間型
株張り : やや大
葉の形 : 楕円形(新葉・成葉とも)
葉の大きさ : やや大
葉厚 : 中
葉の色 新葉 : 明るく鮮やかな緑
成葉 : 淡緑

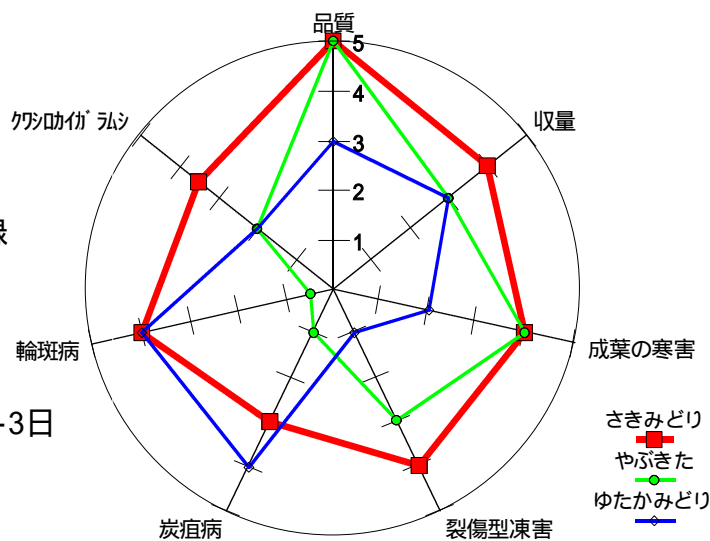
(2) 生態的特性

- 樹勢 : やや強
挿し木発根性 : 良好
一番茶萌芽期 : やぶきた比 -2 ~ -3日

(3) 収量特性

- 一番茶、二番茶とも多収で、
摘採芽の形質はやや芽重型

「さきみどり」の新芽



「さきみどり」の品種特性

(良・強 = 5 ~ 1 = 弱・劣)

4 栽培・加工上の注意点

- (1) 樹勢が強く、初期生育は旺盛です。中間型で株張りもよく、仕立ては容易です。
- (2) 幼木時代には枝条の一部が横になびくことがあります。年数とともに目立たなくなります。
- (3) 暖地では、「ゆたかみどり」あるいは「さえみどり」と「やぶきた」の中間に摘採できる品種として利用できます。
- (4) 葉厚は「やぶきた」と同程度ですが、葉幅が広く葉面積が大きいので、摘採遅れには注意が必要です。
- (5) 「やぶきた」に比べ、クロロフィル含有量が多く、茶粉末としての利用についても関心が持たれています。また、深蒸ししても色沢劣化が少ないと考えられます。